

横浜市立永田小学校

人とかかわりを大切にする子

自分で考え行動する子

心身ともにたくましい子



# 学校だより 年度末号

令和6年3月25日（家庭数配付）

感謝しかないです。

校長 足立 渉

正門近くの桜のつぼみも、膨らんできました。春はもうすぐですね。3年間という短い期間でしたが、この永田小学校で最初の校長職を務められたこと、本当に幸せでした。次年度の60周年を控えての異動は、心残りしかありませんが、次の場所でも、この永田小で学んだことを活かして、学校経営に尽力して参ります。本当にありがとうございました。私はこの永田小学校が大好きです。学校だよりの最終号として、卒業式の式辞でも話した内容を、子どもたちへメッセージとして綴ります。



これからの永田小を支える新2年生から新6年生の皆さんへ

私は永田小学校が好きで、永田のまちが好きで、そこに通ってくる皆さんが大好きです。だから「永田のまちの名前について」の話をします。

「皆さんが過ごしているこの永田の昔の呼び方を知っていますか？」

一番古い記録に残っているものは、戦国時代の頃のもので、小田原の北条氏の領地でした。その当時は山と山に挟まれた土地で、細長い田んぼしかなかったので、「長田」と呼ばれていました。それが豊臣秀吉の時代に今の「永田」に変わりました。

「なぜそうなったのでしょうか？」

それは、「永」という字に秘密があると考えます。「永」の付く漢字を出していくと

「永遠」「永久」「永劫」「永世」など、四字熟語では「永久不変」などいろいろとあります。これらの言葉からイメージすることは、この「永」という漢字には、

「長く続ける」「時が続く」など、「続いていく」というイメージをもつことがで

きます。となると、永田という地名に変えた当時の人々の思いは、この永田の地の田畑が永遠に続き、たくさんの収穫が永久に続いてほしいと思ったのではないのでしょうか？

皆さんはこの永田の子どもたちです。この「永」という言葉にこめられた「続ける」ことをこれからの人生でも大切にしてください。具体的に言うと、まず「自分を大切にすることを」続けてください。これからの人生の中で、思うようにいかないこと、辛いこと、悲しいと思うことは必ずあります。でも、自分を大切にし、たくましく生きることを大切にしてください。そして困難なことになやかに対応することを大切にしてください。

2つ目は「周りの人を大切にすること」を続けてください。上記しましたが、困難なことがあったとき、自分一人では解決できないことがたくさんあります。1 + 1は2のように、答えがはっきりと出ない問題も山ほどあります。自分一人では答えが導き出せない時は、「周りの人を頼りましょう。」「友達や親、教職員にたずねてみてください。」「正解かどうかはわかりませんが、でも、なにがしかの解決策のヒントはそこにあります。」一人で悩みすぎないようにしていきましょう。そのためにも、周りの人を常に大切にすることを続けていきましょう。

3つ目は「あいさつ」をこれからも続けていきましょう。校長先生は永田小に来てから3年経ちます。この3年間で、中学校へ入学した生徒たちはもちろん、地域の人、保護者の方、たくさんのまちの人が挨拶をしてくれます。これは永田の昔から続く素晴らしい伝統です。皆さんも、これからも挨拶をし続ける人であり続けてください。

では皆さん、最後に、もう一つ永田のこの「永」という字の秘密を教えます。「永」という字は、習字の世界では「とめ、はね、はらい」など基本的な筆使いが全て入っている基本となる漢字です。だから基礎基本をつかむために、この「永」という漢字をたくさん練習します。皆さんも永田小学校で基礎基本をたくさん学んでいる最中です。今まで学んできた基礎基本を土台として、これからも頑張ってください。

## 地域、保護者の皆様

初任校長として本校に着任して3年、常に皆様の温かい励ましや応援がありました。この永田で校長職をスタートできたこと、本当に幸運であり、幸せでした。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

コロナが収まり、60周年に向けてこれからというところでの異動は、正直残念な気持ちしかありませんが、その任は次の校長先生に引き継いでいきます。また、地域の行事や運動会などの折には、顔を出させていただきます。その時には、またよろしく願いいたします。

何度も書きますが、永田小の校長として勤務できたこと、本当にうれしかったです。ありがとうございました。これからも、本校の教育にご理解と、ご協力のほど、よろしく願いいたします。